

総務文教委員会

委員長 瀬尾 和敬

九月十七日開催

(一) 議案第一〇〇号 薩摩川内市立小学校・中学校条例の一部を改正する条例の制定について

閉校後の倉野小学校の施設の適正管理に努められたい。

(二) 議案第一〇八号 平成二十一年度薩摩川内市一般会計補正予算のうち本委員会付託分

① 住宅用火災警報器の設置については、地域の事情をよく知る自治会長等の協力も得ながら、更なる普及・啓発に努められたい。

② 学校施設の耐震化に当たっては、学校の統廃合や併設型小中一貫校の問題等と併せて検討しながら、早急に計画を策定されたい。

③ eラーニングシステムの導入について、前向きに検討されたい。

④ 学校施設の耐震補強工事を実施するに当たっては、太陽光発電設備等の設置についても検討されたい。

⑤ 学校ICT環境整備事業は経済対策を目的とした事業であることから、機器を購入する際は、本市

経済の浮揚につながるような発注方法を検討されたい。

⑥ 入来麓伝統的建造物群保存地区内の旧増田邸の保存・整備に当たっては、これを核にししながら、他の資源も含めた地域のビジョンを描き、地域浮揚や人を呼び込むための仕掛けを講じられたい。

⑦ 入来麓伝統的建造物群保存地区において修理修景事業に携わった地元業者が、伝統的建造物に関する技術を習得していることから、その技術が他の地域においても生かされるような方策を講じられたい。



総務文教委員会審査風景

所管事務調査

① AEDについて、必要なときに電池切れなどにより使えないといったことが生じないよう、適切な管理体制を構築されたい。

② 「薩摩川内ほっけもんの旅」を多くの子ども達に体験してもらうためにも、ボランティア等の協力も得ながら、実施回数が増について検討されたい。

③ 学校給食費の未納対策に当たっては、チケット制の導入などの新たな方策を検討されたい。

④ 防災行政無線の戸別受信機設置の機会を通じて、少しでも自治会への加入促進が図られるよう努められたい。

各特別委員会報告

各特別委員会は、次の項目について審査を行いました。

原子力発電所対策調査特別委員会

委員長 池脇 重夫

七月十三日開催

(一) 川内原子力発電所の運転状

況について

当局から、一号機は平成二十年十二月十日に第十九回定期検査を、二号機は本年三月二十五日に第十八回定期検査を終了し、それぞれ通常運転に復帰していることの報告を受けた。

次に、放射性廃棄物の管理状況について、気体廃棄物及び液体廃棄物の放出量は年間放出管理目標値を下回り、かつ検出限界値以下であること、固体廃棄物の貯蔵量は貯蔵率四六・五%であること、報告を受けた。

次に、使用済燃料の保管状況について、本年五月末現在、一号機・二号機の合計で、貯蔵率が五七・六%であるとの報告を受けた。次に、法に基づき国へ報告を要する事象及びその他の事象については、該当はないとのことであった。

なお、調査の過程において、気体廃棄物の放出量の年間排出管理目標値についての質疑があり、法令等に定められた基準値より更に低く管理するため、発電所の設置許可申請時に目標値を設定している旨の答弁があった。

また、塩水遡上に関連した川内河口大橋上流の水質調査等については、当局の主管課間での連携を図りながら、関係機関へ働きか